

1 単元名 「屋久島のみ力を知り，伝えよう・盛り上げよう・守ろう」

2 単元の目標

- ・ 屋久島の自然や環境，産業等について，他の地域との違いを知ったり，理解を深めたりすることができる。 (知識及び技能)
- ・ 屋久島のみ力について考え，特産物等を活用して制作したり，その良さを体感したり伝えたりすることができる。 (思考力・判断力・表現力)
- ・ これまでの学習を通して，屋久島のみ力や良さを自分なりの方法で発表したり，取り組みを続けようとしたり，環境保全に参加したりしようとする態度を養うことができる。 (学びに向かう力・人間性等)

3 単元について

(1) 教材観

本単元では，屋久島で有名な名所や自然，産業について取り上げ，中でも児童が比較的なじみのある「屋久杉」について取り上げる。屋久島には屋久杉を使った工芸品等が多く見られるが，屋久島に住む児童は屋久杉が有名であることは知っていても実際に触れるような機会は意外に少ないと思われる。そこで神山小学校卒業生の保護者でもある木育推進事業者の方を招き，屋久島の木々やそれが作業の工程や目的に応じて変化していく様子について学ぶことによって，興味関心を広げたり，自分の意欲に繋げたりする機会になることが期待できる。

(2) 児童観

本学習に参加する支援学級に在籍する児童は，これまでの学校生活や日常生活における経験の中で，屋久島の名所や食べ物，アクティビティ等について知ったり，そこを訪れたり，体験したりしてきている。また，商店では屋久島の特産物を買ったり，土産屋で工芸品を見たりしている。ただ一方で，それをただ単に屋久島の特徴として捉えているばかりで，そこから先へ繋がっていないように思われる。

(3) 指導観

まず，屋久島について有名な名所や特産物，産業について知っていることを児童同士で意見を出し合う。実際に屋久島の自然の物や農産物，名所などについて紹介したり，実際に触れたりすることから学習を始める。次に，その中から屋久杉に焦点を絞りたい。屋久島の自然の中でも，特に中心になる屋久杉の重要性を知ることになるだろう。そこで屋久杉を加工して家具やいろいろなおもちゃなどを作っている木育推進事業者の福島さんに依頼して，屋久杉の活用法やその良さを学んでいく。児童が興味関心を広げるために，ボンドで付けたり，叩いて組み合わせたりするな

どの簡単な工程で制作できるおもちゃ作りを進めていく。その中で児童が実際に杉に触れることで、その感触やにおい、美しさについて実感を伴いながら味わうことでその良さに気付いてほしい。それを今度は周りの人々や地域の人達に伝えられるような場を設けたい。自分たちの作品がバザーで販売されることを通して、自然の物の価値や大切さ、ありがたみに気づき、それを守っていくという態度や意欲の育成につなげることを目指していく。また、購入者から児童が作った作品についての感想や意見等をフィードバックしてもらうことで、児童の達成感や次年度へ意欲に繋がられるようにしたい。最後にこの単元全体を通して、G Tに対する感謝の気持ちをもつとともに、自然の有難さや有限性、守っていかなければならないという意識をより強くもち、地域の行事や課題を解決するための参画を目指していく。

(4) ESDとの関連

- **本学習で働かせるESDの視点**

公平性：よりよい生活のために生かされている。

連携性：様々な人たちが協力して守り続けてきた。

責任性：守り続けていくには自分たちの行動が大切である。

- **この学習で育てたいESDの資質・能力**

システムズ・シンキング：これまで続けてきた理由について、人の努力や工夫を考える。

協働的問題解決能力：継続するために自分たちも関わっていく。

- **この学習を通して育てたいESDの価値観**

自然環境，生態系の保全を重視する

美しい屋久島の自然や環境を守っていくためには、自分たちが保全し、発信していく。

世代間の公正

屋久島の自然や大切に受け継がれてきたものは、次の世代へきちんと引き継いでいかなければならない。

- **達成が期待されるSDGs**

1 1 住み続けられるまちづくり

1 2 生産と消費

1 5 陸上資源

4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①屋久島の自然や産業にはどのようなものがあるか知っている。	①屋久島の自然に触れながら、その温かさや良さを知り、それを自分なりの方法で表現している。	① 自然の大切さを知り、その良さについて考えたり、守ったりする方法について考えている。
②木工においてこれまで使っ		② 身の回りの自然を守り、資源を

たことのある道具を正しく使用し、安全に作品を作っている。	②作品についての良さを伝えたり、感想を聞いたりすることを通して、自然や伝統の大切さを考えている。	大切にしようとしている。
------------------------------	--	--------------

5 単元展開の概要（全10時間）

次	○ 主な学習活動 ・ 児童の反応	学習への支援	評価 備考
1	<p>「屋久島の自然について知ろう」</p> <p>○屋久島について知っていることや有名なものを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然が多い。 ・ 山や海がきれい。 ・ 魚がおいしい。 ・ 猿や鹿がいる。 ・ 外国人観光客が多い。 ・ たんかんやぼんかん、みかんがたくさん取れる。 ・ 屋久杉や縄文杉 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>なぜ屋久島には、きれいな自然やおいしい自然がたくさんあるのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然が減らないように守っている。 ・ 農家さんが頑張っている。 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分がどんな場所で活動したり、どんな人に会ったり、どんな店でどんなものを買ったり食べたりしたかなど自由に交流させる。 	ア①
2	<p>「屋久島の自然を知り、作ろう」</p> <p>○屋久島の杉について知り、それを使って制作活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲストティーチャーの福島さんから杉について教えてもらい、木育・木工について知る。 ・ 制作過程における杉の変化や、作業の様子を見て、興味関心をもち、自分もやってみたいという意欲をもつ。 <p>○ 屋久杉でおもちゃを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たくさんの道具があるな。 ・ 楽しそうだな。 ・ いいにおいがするな。 ・ 肌触りがいいな。 ・ 上手に作ろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋久島には、杉をはじめとした木々が豊富で、それらを使った木工が盛んであることを知る。 ・ 木々は、農業とは違い、自然災害や風評被害を受けにくく、年によって収穫率が落ちるといったようなことがほぼないことを知る。持続可能な産業であることが分かる。 ・ いろいろな道具を使って、杉を切ったり、削ったり加工したりしながら杉の良さや温かさを実感できるようにする。 ・ 自分たちが作った作品をバザーで販売することを知り、制作に対する意欲をもてるようにする。 	ア① ② イ①
3	<p>「作品をバザーで販売しよう」</p> <p>○屋久杉を使った作品をPTAバザーで販売する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちが作った作品を販売するためにどのような工夫が必要か考え、身近なお店などを例に準備することを考える。 	イ①

	<ul style="list-style-type: none"> • どんな準備が必要かな。 • 木工品の良さをアピールしよう。 		
4	<p>「バザーを振り返ろう」 「購入者からの意見や感想を聞こう。」</p> <p>○バザーで購入してくれた人から、意見や感想を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 気に入ってくれたかな。 • 使ってもらえたかな。 • 大切にしてほしいな。 	<ul style="list-style-type: none"> • バザーの振り返りをして、感想や改善したいこと等について意見を出し合う。 • 購入者にアンケートを依頼し、集約したものを児童に紹介する。作品についての感想や使ってみて感じたこと等の意見をもらい、喜びや達成感を得られるようにする。感想を聞いて、児童が更に次の意欲へと繋げられるようにする。 	イ①② ウ①
6	<p>「振り返りをしよう」</p> <p>○単元全体を振り返り、学んだことをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 木工って楽しいな。 • 福島さんにお礼の手紙を書こう。 • また木工をしたいな。 • 自然を大切にしたいな。 • 自然を守ることができないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> • 屋久杉を使った制作活動を通して、自然のものの良さや温かさを知り、それに対する興味関心を広げ、自然を大切にすることを意識を伸ばせるようにする。また、バザーで得られた収益金で、自然保護のためにできることなど考え、協力しようとする態度を育てられるようにしたい。 	イ① ウ①②